

呼吸機能（スパイロメトリー）検査

概要

息の吐き出しやすさ、吸いやすさなど、肺の機能を調べる検査です。



検査方法

マウスピースを口でくわえていただき、鼻をノーズクリップで挟んで閉じ、口呼吸で検査を行います。担当技師の声掛けに合わせて息を吸ったり吐いたりしていただきます。

検査で分かること

息切れや呼吸が苦しい、咳や痰が出るなど、肺の病気が疑われる際に行われ、検査結果により病気の診断、その重症度、治療効果などの評価に用いられます。また、手術時の全身麻酔による呼吸管理が安全に行えるかどうかの判定のために、手術前には検査を実施しています。

この検査では以下の2種類の項目について調べています。

1. 肺活量 最大限大きな呼吸をした際の空気の量を調べます。
2. 努力肺活量 勢いよく息を吐き出していただき、1秒間に吐ける息の量を調べます。

注意事項

- ・患者様の努力次第で検査結果が変わることがあります。最大限の呼吸をしていただきますので苦しい検査ではありますが、正確な検査結果を得られるように可能な限りご協力をお願いします。
- ・マウスピースから息が漏れてしまうと検査をやり直しさせていただく場合があります。口が閉じにくい場合は紙のマウスピースの他にシリコンマウスピースを準備できますので、担当技師にお伝えください。
- ・コルセットなど締め付けが強いものの着用により最大限の呼吸が難しい場合には、緩めていただくか、外していただく場合があります。

所要時間

約10～15分程度



よくある質問

Q：上手くできないのですが、私だけですか？

A：日常ではあまりすることのない口呼吸をお願いしていますので、慣れるまでに時間がかかる場合があります。担当技師が声掛けをしながら検査を行いますので、そのタイミングに合わせてできる範囲で行っていただければ問題ありません。

Q：手術前ですが、特に咳が出たり息苦しいわけでもないのに、なぜ肺の検査をしないといけないのですか？

A：手術時の全身麻酔による呼吸管理が安全に行えるかどうかの判定のために検査を行っています。全身麻酔で手術を受けられるほぼ全ての患者様にこの検査を受けていただいています。

Q：入れ歯をしています、問題ないですか？

A：問題ありません。マウスピースがくわえにくいなどがある場合には外していただいても構いません。